

修繕費が足りなく空き家がらばい

競争率
7倍

市営住宅、何度申し込んでも入れません

阿寒町の市営住宅の競争率は2倍、音別町は希望者全員が入居できているのに、旧釧路市は、29年度の申し込みが766人に對し、入居できたのは108世帯、入居率は14・1%です。

根本は市営住宅の絶対数の不足、村上議員は避難所機能を備えた市営住宅の建設を提案しています。しかし問題はそれだけではありません。



人気の高い昭和団地に入居できたのは2軒だけで入居率3・7%、緑ヶ岡7軒5・5%、春採3軒3・5%、新川・駒場団地8・1%と、ズラッと入居率ひとけたが並びます。これでは、何年待っても市営住宅に入れません。

しかたない話ですが、市営住宅の「空き家」は全体で1440戸もあるのです。解体予定で募集していない部屋や、痛み具合のひどい部屋もかなりありますが、少しの修繕ですぐ入居できる部屋だけでも274戸(今年8月末)あります。

「市民の要望に応えるために修繕費を増やすべき」と決算委員会で質問しました。

ところが釧路市は、「真に住宅に困窮している方にはきちんと入居していただいている。空き家が多いのは、希望する部屋と空く部屋のミスマッチが原因」と答弁しました。

つまり入居できなかった人は「市営住宅への入居が必要でない人」ということなのでしょうか？

「便利で新しい団地に入りたい」「足腰が弱くなったので、低層階を希望する」のは当然です。

空き家は使ってこそ価値がある

多少の修繕で入れる「空き家」



今年8月末

前年度から七百万円減、入居前修繕費

入居前の修繕費 (旧釧路分)

	(千円)
H25年度	61,622
H26年度	56,761
H27年度	54,494
H28年度	57,470
H29年度	49,898

市営住宅に退去者が出ると、多少の修繕をして次の人に貸し出します。市営住宅の入居前修繕費の推移が上の表です。6千戸の市営住宅があるのに、年間5千万円程度では少なすぎます。

この入居前の修繕費を増やせば、多くの方に公住を提供できることとなります。



市議会議員

村上かずしげ

あちこちの団地に、たくさん使用可能な空き家があります。右の図はほんの一部です。しかも、市営住宅に入居してもらえれば、市には家賃(使用料)が入ります。家賃を修繕費に充てれば元はとれます。逆に空けたままでは、「宝の持ち腐れ」、何も生みだしません。これこそ、税金のムダづかいです。

村上かずしげ通信 18. 11. 4

発行 日本共産党釧路市議団 Tel.23-5212

来年の消費税増税を
国民みんなで中止させよう

紙智子



はたやま和也

